

秋田城の歴史を解明

秋田市秋田城跡歴史資料館では、秋田城跡の発掘調査で出土した遺物を展示している。

秋田城は、700 年代から 900 年代半ばまで、朝廷の地方行政および国際外交の機関であった。

展示品には、公文書を記した木簡、墨書土器、記録係が使用した道具類、武器、鎧などがある。資料館の外には、秋田城の堀の一部が復元されている。遺跡全体の様子を AR アプリで表示できるタブレットを、受付で無料貸し出ししている。

秋田城は 900 年代半ば頃に機能を停止して以降、その歴史や場所は忘れ去られていった。

1800 年代初頭に再び当時の秋田城への関心が高まり、最初の大規模発掘調査が始まったのは 1959 年である。現在も発掘調査は続いており、秋田城での生活について新たな発見が期待されている。